



次期相互運用標準モデルに向けた 技術仕様の改訂について

2026.2.27

ICT CONNECT 21

技術仕様の更新状況

- 全体として、大規模な変更は行っておらず、**必要な修正のみ**。
- ICT CONNECT 21の学習eポータルSWGや校務系-学習系情報連携SWGなどでメンバーにレビューを依頼して意見収集済み。
- 修正箇所の詳細は、**β版の更新履歴を参照**のこと。
- OneRosterによる名簿連携のAPIによる自動化は、現在デジタル庁事業や日本1EdTech協会、ICT CONNECT 21校務系-学習系情報連携SWGなどで検討中であり、相互運用標準モデルに記載するに至っていない。

主な変更点 1

1. 「はじめに」を追加。ドキュメントの目的および構成等を集約した。
読みやすさ向上のため。
2. 「I-1.2.3 利用者識別子の統一」を追加。本モデルにおける利用者識別子に対する基本的な考え方を記載した。
プラットフォームTFでの議論を受け記載。技術仕様にて暗黙的に理解されていた部分を明示するため。
3. 「I-1.2.6 協調領域と競争領域の適切な設定」を追加。Ver.5.00では「4.2 学習eポータルコンセプト」に記載していた内容を基本的な考え方として再整理した。
基本的考え方で述べられるのが適切であるのと、学習eポータルコンセプトを理解しやすいものにするため。

主な変更点 2

4. 「I-2. 学習eポータルとは」を追加。学習eポータルのコンセプトや利用者など、学習eポータルの定義に関する事項を集約した。
本モデルにおける学習eポータルの位置づけを読みやすくするため。
5. 「II. 技術仕様」において、利用者特定を目的として用いられるUUIDを「利用者識別子（UUID）」と表すように変更した。
前年度専門家会議での意見を受け変更。一般用語としてのUUIDと明示的に区別するため。
6. 「II-1.3.2.2 iii) MEXCBT問題メタデータ取得のためのAPI仕様」において、i_translation_cdのデータ型および桁数を変更した。
MEXCBTの仕様変更のため。

主な変更点 3

7. 「Ⅱ-3.2.3.3.1 manifest.csv」において、属性名「oneroster.version」の規定の内容を変更した。

OneRoster JapanProfileの仕様変更のため

8. 「Ⅱ-3.2.3.3.2 academicSessions.csv」において、項目「parentSourcedId」に対する規定を削除した。

日本1EdTech協会より指摘を受け変更。仕様上明確な誤りであったため。

9. 「Ⅱ-5. 将来像と課題」を更新した。

周辺技術の発展や各種実証事業等の結果、委員意見やICT CONNECT 21のSWGでの意見などを踏まえて更新した。

β版の技術仕様に対するご意見

- 技術仕様に関してご確認・ご意見をお願いします。
→ 事実に基づく形で、具体的な修正案をいただくようお願いいたします。
(意見聴取)
2026年2月18日(水)～2026年2月24日(火)に実施済み
※本日追加で意見があればお願いします。
(意見要領)
 - ✓ 記載箇所のパージやタイトル
 - ✓ 改善、変更すべき理由(改善、変更することで、誰にどのようなメリットが生まれるか)
 - ✓ 可能であれば変更案
- いただいたご意見につき、関係者での議論・検討が必要であると判断した場合には、次期標準モデルには反映せず、来年度以降の検討事項として、事業報告書にまとめる予定です。